



テ ー マ	平成30年度中ブロック災害時における栄養・食生活支援ネットワークに関する研修会
目 的	<p>災害が起こった際、大量の食糧を必要とする特定給食施設においては自助が原則であり、災害に備え平常時から施設内の体制整備・食糧備蓄に加え、地域との連携体制を構築しておくことが重要となる。</p> <p>また、中ブロックの各特定給食研究会と保健所では、平成22年度から26年度にかけて、災害発生時の食事提供をテーマに各組織・団体等の取組を共有し、連携を図ってきた。</p> <p>平成30年度は、平成26年度以降の3年間で整備された危機管理体制を検証し、新たな課題を認識することで、より実践的な体制整備の必要性について、各組織・団体等が共有することを目的とする。</p>
対 象 ・ 参 加 者 数	八尾市・大阪府藤井寺・富田林保健所管内特定給食研究会会員、会員外の管内給食施設、地域活動栄養士、市町村職員 174施設192名
実 施 主 体	八尾市保健所管内特定給食研究会、大阪府藤井寺保健所管内特定給食研究会、大阪府富田林保健所管内特定給食研究会、八尾市保健所、大阪府藤井寺保健所、大阪府富田林保健所
実 施 時 期	平成30年10月17日(水)午後2時～5時
内 容 ・ 方 法	<p>1 講演 「非常時における備えについて ～いま、何が出来るのか、何をすべきか～」 講師（公社）日本栄養士会 常務理事 下浦 佳之 氏</p> <p>2 情報提供 「『災害発生時の食事確保のための対策』に関するアンケート結果について」 大阪府藤井寺保健所 企画調整課 広域栄養チーム</p> <p>3 グループワーク 「各施設・事業所等における災害対策の現状と課題について」</p> <p>※ その他、備蓄食の展示・試食を実施。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

<p>成 果 ・ 感 想</p>	<p>○研修会後のアンケートより</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「たいへん参考になる」、「やや参考になる」の合計は、講演で98.0%、情報提供で88.7%、グループワークで88.7%と好評であった。</li> <li>・「講演を参考に、マニュアルや備蓄品の見直しをしたい」、「各部署で連携すること、マニュアルの作成や活用が重要であることを再認識できた」という声が聞かれ、改めて施設での災害時の備えについて啓発することができた。</li> </ul> <p>○事前の「災害発生時の食事確保のための対策に関するアンケート」より施設の現状を把握することができた。今後の取組みに活用する。</p>
<p>担当窓口(連絡先)</p>	<p>八尾市保健所 (電話番号 072-994-0661)</p> <p>大阪府藤井寺保健所 (電話番号 072-955-4181)</p> <p>大阪府富田林保健所 (電話番号 0721-23-2681)</p>